

出題の意図

入試区分	学力テスト
科目	英語

【当科目の出題方針】

1	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ修了程度の基礎学力とともに、共通テストと同程度の英語読解力、英語表現力を測る。
2	会話の流れを理解する力、及び会話でよく使われる表現に関する知識を測る。
3	語彙や表現、構文に関する知識を運用し、英語で書く力を測る。
4	英語の長文の要旨を把握する力を測る。
5	実際のコミュニケーションを重視する観点から、問題の指示文をすべて英語とする。＊共通テストに合わせる。

【各設問の方針と内容・配点】

大問番号	大問の出題内容	配点
1	会話を読んで理解し、その流れ・文脈に合った選択肢を選ぶ問題。まず、会話の流れや内容を理解できるかを測る。同時に、選択肢には会話でよく使われる語彙や表現が含まれており、それらの意味や用法を知っているかどうかを測る。5問中4問が2往復、1問が2往復半の会話になっている。 ＊学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編英語編「第2章第2節 英語コミュニケーションⅠ、1 目標、(3)話すこと[やりとり] ア」及び「第2章第3節 英語コミュニケーションⅡ、1 目標、(3)話すこと[やりとり] ア」も考慮に入れながら、作問されている。	20
2	カッコの中の単語を適切に並べ替え、文を完成させる問題(整序作文)。カッコの中の選択肢(単語)を並べ替えて文を完成させるには、語彙、文法、構文、語法に関する知識が要求される。基礎的な文法、構文、語法に関する知識を身につけているか、そしてそれらを運用・応用できるかを測る。受験者が単語を1つ補って完成させるようになっており、一般的な整序作文の問題よりも難易度が高くなっている。	15
3	与えられた日本語を英語に訳す(英語で表現する)問題。受験者が身につけている語彙や表現、構文を運用し、英語で書く力を測る。正解は一つではなく、受験者は与えられた日本語を自分なりに解釈し、それを自身が身につけている語彙や表現、構文を応用しながら自分なりの英語で表現できるかどうかを測る。	20
4	長文読解問題。時事に関する英語長文を読み、内容をどの程度正確に把握できているかを空所補充問題を通して測る。文章の流れ、及び空所に入る選択肢の英語を正しく理解するために必要な語彙、文法、構文に関する知識が要求される。解答で使用しない選択肢を3つ入れている。	20
5	長文読解問題。学生生活に関連する英語長文を読み、内容をどの程度正確に把握できているかを多肢選択問題を通して測る。長文、及び設問と選択肢の英語を正しく理解するために必要な語彙、文法、構文の知識が要求される。	25